

# 令和6年度 事業報告

## I. 決算概要

|              | 令和6年度実績 | 令和5年度実績 | 増減    | 前年比    |
|--------------|---------|---------|-------|--------|
| 経常収益計        | 40,460  | 36,877  | 3,582 | 109.7% |
| 経常費用計        | 34,462  | 32,588  | 1,873 | 105.7% |
| 経常利益         | 6,936   | 5,094   | 1,841 | 136.1% |
| 期末現預金        | 14,266  | 10,464  | 3,802 | 136.3% |
| 館生数<br>(年平均) | 40      | 35      | 5     | 114.3% |

\*経常利益＝経常収益計－経常費用計±営業外収支

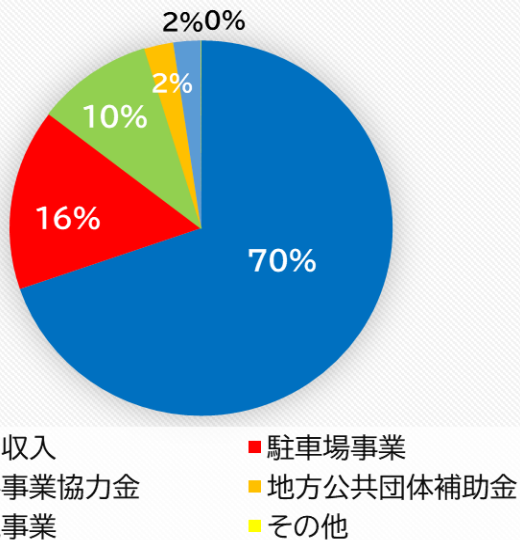
今年度の経常収益は 40,460 千円 となり、前年度（36,877 千円）に比べて 3,582 千円の増収（+9.7%）となりました。これは、館生数が 40 名で満室となったことが大きな要因です。

経常費用は 34,462 千円 で、前年度（32,588 千円）から 1,873 千円の増加（+5.7%）となりました。主な理由は、館生の増加や物価高の影響により、給食費と光熱水料費が増加したためです。ただし、それ以外の費用は抑えられており、全体として効率的な運営ができた一年だったといえます。

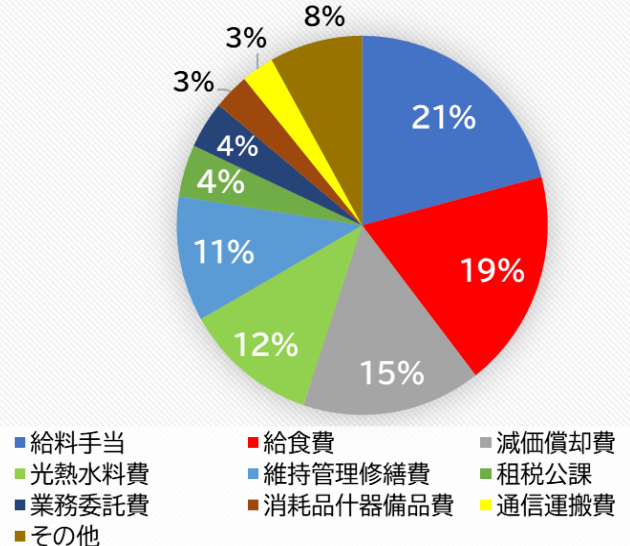
その結果、経常利益は 6,936 千円となり、前年から 1,841 千円の増益（+36.1%）と大きく伸長しました。これは、収益の増加に加え、支出の適切な管理が奏功したことによるものです。

また、期末の現預金残高は 14,266 千円 となり、前年より 3,802 千円の増加（+36.3%）となりました。引き続き、手元資金も安定して確保できており、健全な財政状態が維持されています。

経常収益構成比

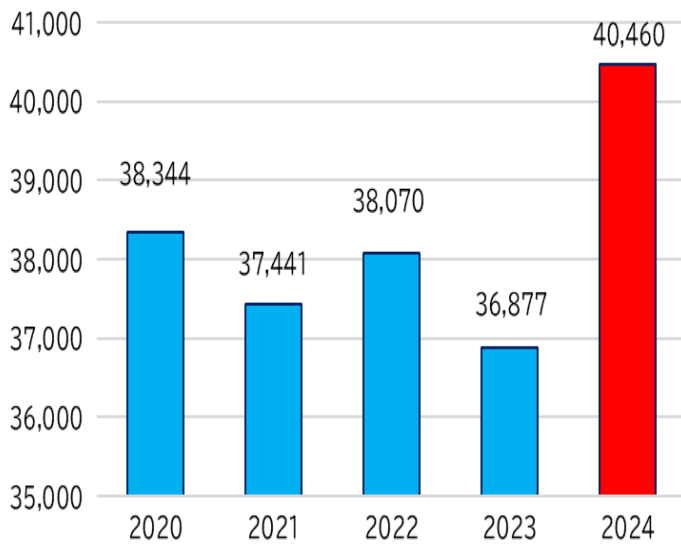


経常費用構成比

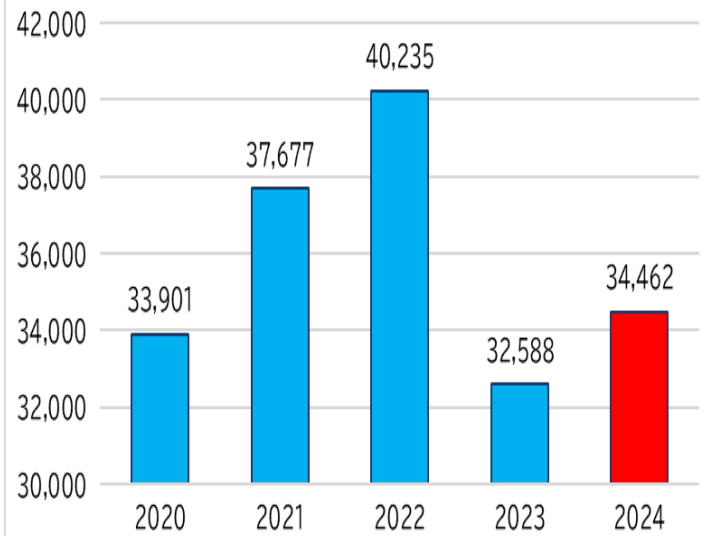


(2020 年度～2024 年度実績／単位：千円)

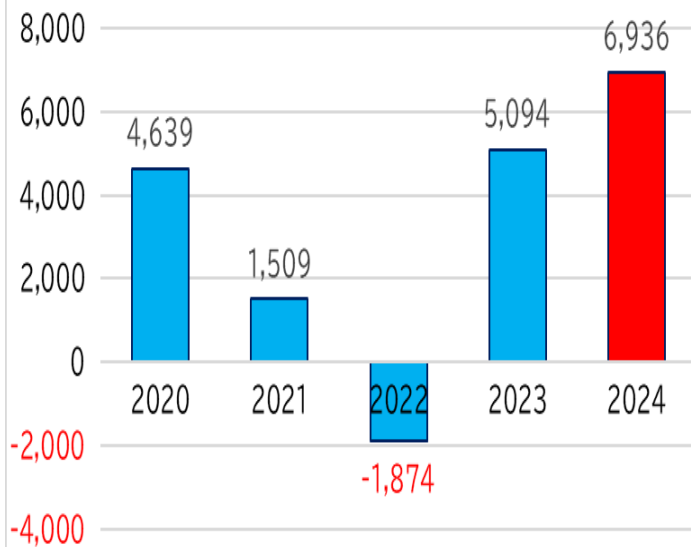
### 経常収益



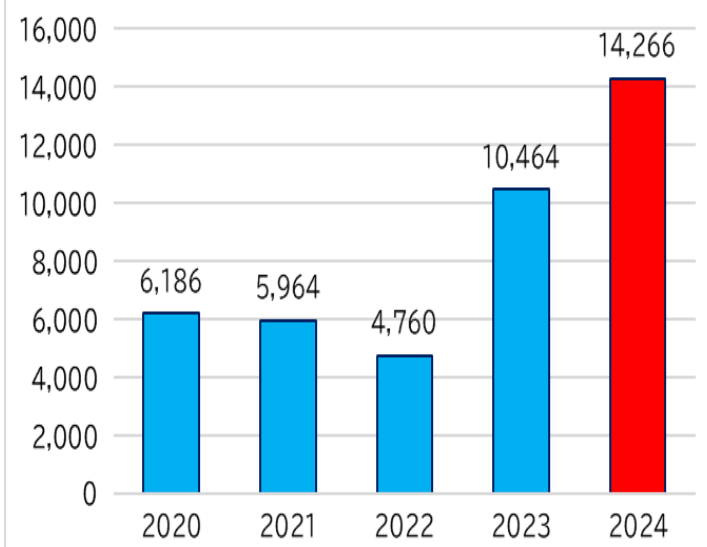
### 経常費用



### 経常利益



### 資金残高



## Ⅱ.公益目的事業

### a. リクルート活動

館生 40 名体制の維持を最重要課題と位置づけ、卒退館予定の 12 名の補充に向けて早期から募集活動を開始しました。その結果、応募者 33 名（うち面接実施者 23 名）と多数の応募を得て、12 名の新入館生を迎えることができ、40 名満室での順調なスタートを切ることができました。

### b. 賄人・管理人の交代

長年勤務いただいた太田賄人・管理人が退職され、後任として採用した横山夫妻も短期間で退職されるなど、人員体制の維持に苦慮した一年となりました。しかしながら、2025 年 1 月に新たに採用した須金夫妻は、館生からの評判も良く、今後、長期的な勤務が期待できる人材と考えております。

### Ⅲ.行事その他

今年度に実施した主な行事は以下の通りです。

- 4 月：入館式（会場：長善館）
- 7 月：郷友会ニュース夏号発行
- 8 月：長善館同窓会（会場：諏訪市 割烹仙岳）
- 9 月：保護者懇談会（オンラインにて実施）
- 10 月：記念祭／秋季大会（会場：長善館）
- 11 月：長善館セミナー（会場：長善館）  
講師：東京証券取引所 金融リテラシーサポート部 上原晋一課長  
演題：「ライフプランとお金の活用」
- 12 月：郷友会ニュース冬号発行
- 2 月：卒館式（会場：三進）

### Ⅳ.収益事業

#### a. 駐車場事業

通年を通して 7 台程度の空きが発生し、平均稼働台数は前年より 4 台減となる低調な結果となりました。収益は 6,346 千円（前年度 7,219 千円）で、対前年比 87.9%の実績でした。

#### b. 太陽光発電

11 月以降、売電収入が従来の約 70%に落ち込んだため、原因究明を岡谷酸素に依頼したところ、パワーコンディショナー4 台のうち 1 台の故障が判明しました。1 月に部品交換修理を行ったものの、その間の落ち込みを挽回するには至らず、年間収益は 922 千円（前年度 968 千円）、対前年比 95.3%の結果となりました。

### Ⅴ.法人管理

#### a. 役員人事

現在の役員体制は、理事長 1 名、副理事長 1 名、理事 5 名（うち常務理事 2 名）で構成されています。理事の高齢化と若返りの必要性は長年の課題となっており、2025 年度はこの問題を最優先事項として取り組んでまいります。

#### b. 各種規程類の見直し

現行の規程には、法人運営上の負担となる内容も散見されることから、法令遵守を前提としつつ、時代に即した簡素で柔軟な運営が可能となるよう見直しを進めてまいります。